

一人一人が備えてこ！ 防災力UP！鳥羽

総務課防災危機管理室

☎(25) 1118

vol.38

避難所運営の 事前準備をしましょう

避難所は在宅避難者の支援も含め、地域コミュニティの場となります。発災直後には、住民自治による迅速な取り組みが重要となることから、避難所は原則として、住民の自主運営とします。しかし、準備をしておかなければスムーズな避難所運営はできません。事前準備として、避難所運営マニュアルの作成や避難所運営ゲーム(HUG)でのシミュレーションについては市で支援をしていますので、気軽に連絡してください。

避難所の運営は、 地域のみならず！

地震や津波、洪水、土砂災害で自宅が流失、損壊してしまつた場合、多くの人は市が開設する避難所での生活を強いられることとなります。

避難所生活において、避難者はお客さんではありません。避難者自身も積極的に避難所運営に関わることが重要です。

避難所開設・運営の流れ

台風などのときに一時的に避難所に避難する場合ではなく、一定期間避難所で生活する場合の避難所開設や、運営の流れは表のとおりです。



熊本地震における避難所の様子

避難所開設 準備・開設

- ・準備のための開錠
- ・受入準備(安全点検など)
- ・レイアウトづくり
- ・避難者への開設・受付開始(避難者数把握(名簿づくりなど))
- ・居住スペースへの誘導と割り振り

運営体制 づくり

- ・運営委員会の設置
- ・会議の開催【代表者会議、班別会議(総務班、情報班、被災者管理班、施設管理班、食料物資班、救護班、衛生班、ボランティア班など)】

避難所 運営

- ・行政との連絡体制の確立
- ・在宅避難者への対応
- ・物資確保

避難所の 安定化

- ・ルールの確立
- ・生活支援
- ・常用医薬品の確保
- ・居場所づくり
- ・プライバシー確保対策
- ・管理(衛生・食事・健康)の徹底
- ・相談体制の確保
- ・こころのケア(遺族含む)

Vol.39



「親子の愛着関係」

みんなで子育て
だっこで
ほっと

子育て支援センター
☎(25) 7225

先日、生後2か月の赤ちゃんを抱っこしました。小さくてかわいくて、おっぱいの匂いがありました。生まれたての赤ちゃんは、視力が0・01くらいだといわれていますが、話しかけるとじっと見てくれました。声掛けを続けると、口の動きをまねしているように、唇を動かす声も出し、とても愛しく感じました。

ところが、隣に座っていたママが声を出し、手を差し出す気配を感じると、すぐに反応して視線はママのほうへと移っていききました。大好きなママにすぐ気付く赤ちゃんに感心しました。生後2〜3か月ですでに声や匂い、肌の温もりなどの感覚的な愛着関係が生まれているのです。

お腹がすいて泣くと授乳してもらい、大きな音にびっくりに泣くと抱っこしてもら

い安心するといったように、自分の要求を受け止めてもらい、欲求を満たしてもらつことや、優しく声を掛けてあげてもらつたなどの心地よい体験を重ねていく中で愛着関係が深まっていきます。この子は、きつと十分体験できているのだからと感じながらママの腕の中に赤ちゃんを返しました。

特定の身近な人との愛着関係が十分築けると、その次に特定の人だけでなく、それ以外の人を受け入れる力へと繋がっていくといわれています。赤ちゃんはコミュニケーションの基本を、生後間もないこの時期から積み重ね始めているのです。親子間の愛着関係の大切さを改めて感じました。

